

「最近の税金関連のニュースについて」

松田町立松田中学校 3年 渡邊 憇宇

最近、テレビやインターネットで「増税」や「防衛費の増額」という言葉を耳にします。しかし、正直なところ、これらの話題が何を意味しているのか私は理解できませんでした。そこで、自分なりに調べてみました。調べていくうちに、税金がどのように使われているのか、防衛費の増額が今の日本にどのような影響を与えているのかについて理解が深まりました。

まず、税金についてです。これは国や地方自治体が公共のサービスや事業を行うために国民から集めるお金です。税金は私たちの生活を支えるために非常に重要な役割を果たしています。例えば、学校や病院の運営、道路や橋の建設、警察や消防の活動など、私たちの日常生活に欠かせない多くのサービスは、税金によって支えられています。また、少子化が進む中で、年金や医療、介護といった社会保障制度にも多くの税金が使われています。これらは私たちが安心して生活するために必要なものであり、税金がどれだけ大切か理解することができました。

次に、防衛費について調べました。防衛費とは、国を安全に守るために使われる費用です。日本は平和な国ですが、近年、周辺国との関係が複雑化し、国際的な安全保障の状況も変化しています。これに対応するために、防衛費が増額されるという話が出ています。しかし、防衛費の増額には賛否両論があるようです。

いずれにせよ、賛否両論があるのは防衛費だけでなく、増税も同様です。増税による負担などについてさまざまな意見があります。一方では、必要な社会保障や公共サービスを維持するために増税が必要だという意見もあり、他方では、増税が経済に悪影響を与える可能性があるという懸念もあります。

私はまだ中学生であり、政治や経済の近況について深く理解しているわけではありません。そのため、今の日本の防衛政策や増税について自分なりの改善案を提案することはできません。しかし、この国の政治を担う人たちは、国民の安全と未来を考えてこれらを決定していると信じています。

もちろん、どんな政策にも賛成や反対の声があるのはごく自然なことです。しかし、私は、日本がこれからも平和で豊かな国であり続けることを願っています。そのためには、私たち一人ひとりが税金の使い道や防衛費の問題に関心を持ち、自分なりに考えることが大切だと思います。未来の日本がどのようなようになるかはまだわかりませんが、私はその未来に希望を持ち続けていきたいと思っています。